

独立行政法人日本スポーツ振興センター委託事業

令和6年度

課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援プログラム

「メダルポテンシャルスポーツ育成のための持続可能なシステム構築支援」

JMSCAボルダー育成拠点及びボルダー/リード育成・強化拠点評価項目一覧（採点表）

応募施設名：

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

2024年6月

応募申請書が以下の観点で書かれているかを評価します。

5点	非常にそう思う
4点	そう思う
3点	どちらともいえない
2点	そう思わない
1点	非常にそう思わない

①応募拠点名称：JMSCAボルダー育成拠点		評価
1	所管のPFと持続的・発展的に連携し、次世代アスリート育成に貢献できる。	
2	所定のクライミングウォール要件を概ね満たすボルダーウォールを有し、ターゲットアスリート及びユースC以下のクライマーの育成・強化に適したルートセットが可能。	
3	最大15名のターゲットアスリートを対象に、ユース強化練習会が実施可能。	
4	最大15名がストレッチできるスペース（30㎡：1名につき2㎡程度）を有し、ユースC以下のクライマー15名とその保護者、施設スタッフ2名及びPFスタッフ1名を対象に、育成プログラム及びコーチ人材育成プログラムが実施可能。	
5	事業担当者を1名配置できる。	
6	施設スタッフ2名及びPFスタッフ1名はユース強化練習会及び育成プログラム、コーチ人材育成プログラムに参加できる。	
7	小学1年生以上を対象とするスクールの運営実績	
8	施設スタッフ2名及びPFスタッフ1名がJSPO・JMSCA公認スポーツクライミング指導者の登録済み、または登録予定	
9	付加価値 宿泊施設やフィットネス施設あり、等	
Score		0

②応募拠点名称：JMSCAボルダー/リード育成・強化拠点		評価
1	所管のPFと持続的・発展的に連携し、次世代アスリート育成に貢献できる。	
2	所定のクライミングウォール要件を概ね満たすボルダーウォールとリードウォールを有し、ターゲットアスリートの育成・強化に適したルートセットが可能。	
3	最大20名のターゲットアスリートを対象に、ユース強化練習会が実施可能。	
4	事業担当者を1名配置できる。	
5	施設スタッフ2名及びPFスタッフ1名はユース強化練習会に支援スタッフとして参加できる。	
6	施設スタッフ2名及びPFスタッフ1名がJSPO・JMSCA公認スポーツクライミング指導者の登録済み、または登録予定	
7	付加価値 宿泊施設やフィットネス施設あり、等	
Score		0

総合得点が同点だった際は、協議の上、次の方法から選定施設を決定する。

決選投票

採点方式で選定施設が決しない場合、選定委員の決選投票で選定施設を決定する。